

TAKE OFF! いんくる通信 No.19

あなたのはたらきたいをかたちに 社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

◎スタッフ リレーエッセイ①

「プロフェッショナルとは」 副施設長 後藤 耕士

今から 20 年ほど前、就職活動中に、ある企業の選考で「プロフェッショナルとアマチュアの違い」というテーマの小論文を書くことになった。元々文才も教養もない私は、何を書いたか思い出せないほど中身の無いものを提出し、選考は不合格だった。「不合格は実力相応」と結果はすんなり受け止めたが、なぜかそのときから「プロフェッショナルとは何か？」という問いが私の中にずっと残るようになり、事あるごとに頭をよぎる。そこで、今日は私なりに考えている「プロフェッショナル」について書いてみたい。

「あの人はプロだね」「さすがはプロ！」と、私たちが周囲にいる人のことを「プロ」と評することがある。私も「プロ」と感じる多くの方に出会ってきたが、その人たちのことを思い返してみると、ひとつの共通項が見えてくる。それは、「常に顧客のことを意識して仕事をしている」ということである。調理道具の「ざる」を数十年作っている職人は、様々な分野の料理人や家庭の主婦など、ざるをよく使う人たちから寄せられる要望に応えるべく、日々努力を重ねた結果、既製品にはない使い勝手のよさや丈夫さを備えたすばらしいざるを開発することができたそうだ。結果、多くの人から支持され、「ざるのことならこの人の右に出るものはいない」と言われている。

あるスポーツインストラクターは、スポーツクラブでストレッチや筋力トレーニングのレッスンをしているが、レッスン受講生から寄せられる、身体に関する様々な質問に答えるために勉強を重ね、知識・技術を広げていったところ、「あの先生のレッスンはわかりやすいし、きちんと質問にも答えてくれる。アドバイスも的確だから、受講すれば結果が出やすいよ」という口コミが広がり、今ではなかなか予約が取りづらい人気のレッスンになったそうだ。

仕事上必要なことを学ぶのは大切なことだが、そこに「お客様を喜ばせたい」という気持ちがあれば、仕事の質を上げようと努力をすることになる。この積み重ねがその道のプロを作ることになるのではないかと思う。20 年前の問いに自分なりの答えを出してみたものの、「言うは易く行は難し」とはよく言ったもので、自分が一流のプロになるまでには、より一層の努力が必要だと痛感してしまった。

◎武蔵野市役所ハートフル実習を利用しました。

ハートフル実習とは、武蔵野市地域自立支援協議会が呼びかけ、市内の一般企業等の事業所の協力を得て、様々な障害のある方に、実際の「仕事」に携わる機会を提供しようとするものです。現在は武蔵野市障害者就労支援センターあいるが窓口となって実施しています。

実習期間は 1 日から数日と短いものが多いものの、今回のように、市役所や民間企業の一部署から業務を切り出していただく場合から、コミセンの喫茶コーナーの仕事まで、様々な仕事があり、就職を目指す上で貴重な経験となるものです。今回は武蔵野市役所の人事課様を中心にご協力いただき実施されました。

次に参加された方の感想を掲載します。(鈴木)

ハートフル実習を終えて

T. T.

去る 6 月に武蔵野市役所で実習を行いました。

主な業務内容は書類整理で、古いファイルからひたすら色紙と普通の中性紙とを分別するという作業でした。午後の作業だったので若干眠気が差すこともありましたが、提示の 17 時まで作業をやり遂げました。最初に出された仕事を予定より早く終わった為、追加で仕事が出ました。時々 10 分程度の休息が入りました。休息中は外を眺めたりして何もせずに過ごしました。また小学校に配るプリントをクラスの分に分けるという作業もやりましたが、これは時折数を間違えるというミスがありました。

この仕事を通じ、普段私達が快適に暮らせたり、楽しいイベントに参加できるのは市役所の方々のおかげだということを実感しました。実習を体験させて頂いた武蔵野市役所の皆さん、ありがとうございました。



◎第12回 就職者の会を開催しました。

7/19(金)の夕方、第12回いんくる就職者の会を開催しました。回を重ねるごとに新メンバーが増えていき、12回目を数える今回は2名の方が初めての参加をして下さいました。

この時期は暑さや湿っぽさで、どうしても食欲が落ちてしまいがちになりますので、バランスの良い食事を取りながら、活動を共にした仲間や、先輩、後輩たちと情報交換や思い出話をして楽しい時間を過ごし英気を養っていただくこと、会場を吉祥寺コピスの地下にある「自然派バイキングわらべ」に設定して行いました。

新メンバー2人と職員を含む16名の参加者で夏野菜たっぷりのバイキングを楽しみながら、近況などを話し合ったほか、『今日行ってきた仕事』をお題に、自己紹介を兼ねて、一人ずつ発表して頂きました。一人ひとりから話される『今日の仕事』は、皆それぞれがいんくるを卒業後、社会人として責任をもって仕事に取り組んでいる様子が目に見えてくるもので、非常にたくましく、頼もしく見えました。

就職者の会は、就職者同士のつながりを深めると共に、お互いの大変さや頑張りを共有して、明日への活力に繋げる事を目指すことが大きな目的でもありますので、卒業生の皆さんが、他のメンバーがどんな仕事をどんな風に頑張っているのかを知ることで、明日の自分の力になってくれることを願っています。そして、私たち職員も卒業生たちのいきいきと頑張っている姿に沢山の力を頂いています！（猪狩）



◎会社見学会を行いました。

いんくるでは、目指す職種が具体的にありつつある方や企業で働くことのイメージを具体的に掴みたい方のため、会社見学会を行っています。本年7月17日には、昭島市拝島町の「株式会社オー・エス・シー・フーズ」様に見学の機会を頂き、利用者、職員あわせて4名で伺いました。こちらでは、スーパー「オリンピック」で販売されるお弁当、惣菜、おはぎ、おにぎり、巻き寿司等の製造、盛付けの業務が行われていました。従業員は200人で、女性の方が多く働いて

おられました。工場内はとて広く衛生的で、機械や従業員の方が整然と配置されていました。

次に参加された方の感想を掲載します。（空閑）

会社見学に行きました

M. Y.

見学に行った会社はオーエスシーフーズです。もより駅は昭島駅で、駅から歩いて15分くらいです。おにぎりとおはぎと、たまきずなどの工場を見てまわりました。ものすごくたくさんの人で、がいこくじんもいて、あわせて200人くらいはたらいっていました。食べ物を作る現場を見ましたが、手袋の中に水が入ってしまうと手が荒れてしまいそうでした。

会社見学を振り返って

M. T.

見学した工場は、弁当、おにぎり、惣菜等を製造していました。私は、工場と聞いて前職で働いていたパン工場が頭に浮かび緊張していました。しかし、工場の中に入ると社員と責任者の方が優しく工場の作業状況を分かりやすく説明してくれました。作業場内は女性が多く、特にベトナムの方も働いておられることを知りました。流れ作業では、完成した商品にシールを貼る作業を見て、私は集中力がなくてできない大変な作業だなと感じました。見学を終えて思ったことは、世の中にはこういう仕事があることを自分の目で見て見学できたのが、とても良かったと思います。

◎平成31年度 就職者の状況

平成31年度4月から3名が企業に就職しました。

Aさん 株式会社松屋フーズ

Bさん ゆうせいチャレンジド株式会社

Cさん パーソルチャレンジ株式会社

☆就職された方からのメッセージ

悔いのないように

Ma. To.

私がいんくるで学んだことは、作業の効率をあげることです。実習先で、なかなか作業がはかどらないと、職員に相談しました。その時、職員が自分のペースを少し早めたほうが良いと言いました。それを聞いて、私が実践したとき、作業がはかどりました。これから就職を目指す皆さんへ。皆さんは何が好きですか？私はゲームや音楽が好きです。皆さんも好きなことを思い浮かべつつ、仕事探しを頑張ってください！好きなことと両立して、頑張ることは、仕事の効率を上げられます。好きなこと、やりたいことのため、悔いのないように、頑張ってください！

※いんくる通信 TAKE OFF! は年4回の発行です。

社会福祉法人武蔵野 ジョブアシストいんくる

〒180-0006 東京都武蔵野市中町1-28-10

電話 0422-50-1701 Fax0422-50-1702

e-mail incl@fuku-musashino.or.jp

URL <http://fuku-musashino.or.jp/syougai/syougai-07.html>